

政治経済学研究科 学位論文（修士論文） 審査基準

1. 修了基準について

合計 30 単位以上を修得するとともに、修士論文について本研究科が行う審査及び試験に合格すること。

2. 審査基準

学位論文（修士論文）
審査の要点

本課程の学位論文（修士論文）審査にあつては、以下を基準とする。

1. 研究課題にかかわる従来の知見を系統的かつ過不足なく総括できていること。
2. 従来の研究と比較して新たな知見・考察・展望が含まれていること。
3. 申請者が研究内容の意義、結果について十分に理解していることを、学位論文及び最終試験（口頭試問・公開）において適切に示せること。

政治経済学研究科 学位論文（博士論文） 審査基準

1. 修了基準について

必修科目 12 単位、各コースの演習 4 単位及び特論 2 単位の合計 18 単位を修得するとともに、博士論文の審査及び試験に合格しなければならない。

2. 審査基準

学位論文（博士論文）
審査の要点

学部および修士課程で学んだ政治学、経済学に関する基礎的な知識の上に、さらに専門的で高度な知識を学ぶとともに、主体的な研究調査、発表、討論によって、さらに広い視野に立った学識を有する専門的な研究者を育成するための科目を設置している。これらの科目を学び、所定の単位を取得し、一定水準以上の博士論文を提出した者に、博士の学位を授与する。

1. 政治経済学研究科政治経済学専攻博士後期課程政治学コースでは、所定の修了要件と以下の要件を満たした者に博士（政治学）の学位を授与する。
政治学に関する専門的な知識をもち、高い研究能力と応用力を有して政治学の発展に寄与する専門的な研究者あるいは学識を活かした職業人としての研究能力を身につけていること。
所定の単位を修得するとともに、博士論文を作成して論文審査に合格すること。
2. 政治経済学研究科政治経済学専攻博士後期課程経済学コースでは、所定の修了要件と以下の要件を満たした者に博士（経済学）の学位を授与する。
経済学に関する専門的な知識をもち、高い研究能力と応用力を有して経済学の発展に寄与する専門的な研究者あるいは学識を活かした職業人としての研究能力を身につけていること。
所定の単位を修得するとともに、博士論文を作成して論文審査に合格すること。